

緑が丘

学校教育目標
自ら考え
正しい行動のできる
心豊かな生徒の育成

緑が丘中学校
学校通信 NO.2
令和5年5月1日

自分の生活を振り返りさらなる成長を

風にそよぐ木々の緑もまぶしい好季節となりました。今年も生垣のツツジが満開となりました。植物は毎年変わらず美しい花を咲かせ私たちに四季の移ろいを知らせてくれます。



今年も満開のツツジ

新年度が始まって3週間がたちました。1年生は入学時には、不安な様子も見られましたが、中学校生活にも慣れ元気に過ごしています。特に多くの生徒が仮入部を終え自分で選んだ部活動に参加しています。継続して取り組み心

と体を鍛えてほしいと思います。2年生は後輩ができ、上級生としての自覚が芽生え、大きな成長が感じられます。中だるみといわれる学年です。しっかり目標をもって頑張ってください。3年生は最上級生として、生徒会活動や部活動でリーダーシップを発揮しています。と同時に義務教育の集大成となる1年を自覚をもって過ごし大切な思い出を創ってほしいと思います。

さて、もうずいぶん前のことのように感じますが昨年度、日本中が熱狂する大きなスポーツイベントが2つありました。1つ目は、11月からカタールで開催された『FIFAワールドカップ 2022』です。日本代表は優勝経験のあるドイツ、スペイン、強豪コスタリカと同組で予選突破も危がまれました。しかし、ドイツ、スペインを逆転で破りグループステージを1位で通過し決勝トーナメントに進出しました。ベスト8の壁は越えられませんでした。日本中がその活躍にわきました。

2つ目は3月に開催された『2023 WORLD BASEBALL CLASSIC』です。日本代表が準決勝ではメキシコ代表にサヨナラで勝利し、決勝ではドリームチームといわれるアメリカ代表との接戦を制し7戦全勝で3度目の世界一に輝きました。

どちらも、試合の結果や選手の活躍を連日テレビのワイドショーやニュースが取り上げました。普段サッカーや野球に興味のない人までその結果に一喜一憂しました。どうしてこんなにみんなの関心が集まったのでしょうか。代表選手はみんなとってもカッコいいです。多くのドラマも生まれました。でもそれだけでしょいか。どちらの日本代表にも共通することは、「あきらめず全力で取り組む姿」「仲間を大切にする姿」「うまくいかないときは励まし、成功した時には自分のことのように喜ぶ姿」「感謝し、ロッカールームやベンチを美しく整頓する姿」などスポーツに長けているだけでなく人として尊敬できる点が多くあったからではないでしょうか。これこそが私たちが学ぶべきことです。

「感動をありがとう」日本代表に感謝するとともに、少し状況が落ち着いた今、一時のブームとしてしまうのではなく自分の生活を見つめる機会としてください。そして、「あきらめない心」「感謝する心」「仲間を大切にする心」を大切にしてほしいと思います。そのことがさらなる成長につながります。

(校長 西臺 士郎)

「授業参観には、多くの保護者の方にご来校いただき、ありがとうございました」

4月22日(土)の5校時、授業参観を行ったところ、たくさんの保護者の皆様に、中学校へお越しいただきました。



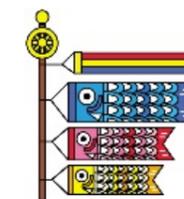
なかなか教室内へ入ることができなかつたり、廊下が通りにくくなつたりと、ご不便やご迷惑をおかけしましたが、保護者の皆様の、本校への関心の高さを強く感じました。

今後とも、本校の教育へのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

「ゴールデン・ウィークの過ごし方」

新学期が始まって、新しい生活に慣れることにたくさんエネルギーを使うことが多かった4月。ゆっくり過ごす時間をとることがなかなかできなかったかもしれません。休養を取ったり、新しいことや自分のやりたいことにチャレンジしたり、自分の得意な教科や苦手な教科の学習をする時間に充てたりして、計画的に充実した連休を過ごしましょう。

そこで心がけてほしいのは、「学校生活を送っている時の生活のリズムをキープする」ことです。次の日が休みだからと、つい夜遅くまで起きて、ゲームをしたりネットで動画を見たりすると、次の日だけでなく、あとの日にも、生活リズムの乱れが続きます。それを立て直すには、たくさんのエネルギーと時間が必要になります。連休であっても、生活のリズムをくずさず、規則正しいリズムで過ごすようにしましょう。



5月の行事予定表は、保護者専用ページに載せています。